

女性相談プラットフォーム運営事業【静岡市】

個別事業費	314 千円
交付金額	236 千円

地域の実情と課題

- ・コロナの影響で静岡市女性会館に寄せられる相談件数がR2年度以降急増している。
- ・DVなど深刻な問題を抱える女性の相談が増加しており、支援機関との連携が課題である。
- ・市民意識調査(R3)より、DV経験者の42.9%が「誰にも相談しなかった」と回答しており、相談しやすい環境、居場所づくりが課題である。

目的・目標

様々な課題・困難を抱える女性への支援として、静岡市女性会館相談室の機能を補完し、相談者を支える仕組となるプラットフォームを構築する。

- ・開催回数18回(達成)
- ・前向きな気持ちになった人の割合 80%(達成)

事業の特徴

困難を抱える女性のための自立支援窓口及び居場所の開設(情報理解・家計管理・各手続等)(月1回)

連携団体

静岡市女性会館他県内中部の自治体等

事業の効果

- ・居場所兼サポート窓口を開設し、延べ180人(大人139人、子41人)の利用があった。
- ・心理的なサポートより社会的なサポートを必要としている人が多く、相談室よりも他の支援機関に繋いだり、情報提供を行い、様子を見守った。
- ・開催回数18回(「ふらり」11回、「ちるり」7回)(達成)
- ・前向きな気持ちになった人の割合 97.15%(達成)

今後の課題

参加者の中には課題や問題の解決のために行動することが決断できず、一歩を踏み出せない人も一定数いる。そのような参加者には、まずは毎回参加してもらい、安心感を得られる居場所となることが必要となっている。そのため、定期的、安定的に開催し、定着させていくため、開催場所、開催時間などを検討する。

事業の概要

様々な課題・困難を抱える女性への支援として、相談につながる入口として自立支援窓口・居場所を開設し、相談者を支える仕組となるプラットフォームを運営する。

年18回(「ふらり」11回、「ちるり」7回) 実績延べ180人(大人139人、子41人)

